

千葉港千葉中央地区複合一貫輸送ターミナル整備事業

令和5年度事業費:12.8億円

【千葉県】直轄

事業の概要

千葉港千葉中央地区は、我が国の自動車産業、製造業（化学工業等）及び製紙業の海上輸送網の拠点となっており、内航RORO船により輸送される貨物需要の増加を受けて、輸送船の大型化への対応が必要となっています。

このため、貨物需要の増大に伴う内航RORO船の大型化に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能を有する複合一貫輸送ターミナル（水深9m）を整備します。

令和5年度予定

- 岸壁（水深9m）の撤去工、本体工、地盤改良工、上部工等を実施する予定です。
- 防波堤の設計を実施する予定です。

事業の効果

- トラックドライバー不足や高齢化など将来的な輸送力不足が懸念される中、本事業の実施により、船舶の大型化が図られ、内航RORO船による輸送力が増強されることにより、将来的な貨物需要への対応が可能となります。
- 本事業の実施により、船舶の大型化による物流効率化が図られ、地域企業の輸送ニーズや物流コスト削減への対応が進むことにより、競争力が向上し、地域の安定した発展が期待されます。
- 本事業の実施により、大規模地震発生時においても、耐震強化岸壁を利用した地域の産業活動及び地域住民の生活が維持されます。
- モーダルシフトの進展により、首都圏流入車両が削減され、渋滞緩和に寄与します。

